



学校長より

長野県諏訪二葉高等学校のホームページによるこそ！

本校は、諏訪の東、二葉ヶ丘の高台に位置し、本校を守護するかのようにそびえ立つ3本のヒマラヤスギをはじめ、多くの緑豊かな木々に囲まれ、諏訪の町並みや諏訪湖が一望できる豊かな自然に恵まれた素晴らしい環境の中にあります。さらに、長い歴史をしのばせる「すこやか」像やステンドグラス「飛翔」に見守られ、生徒は向学心を高めるとともに、明るく伸び伸びと学校生活を送っています。

本校の学校目標は「自主・努力・感謝」です。生徒は互いに切磋琢磨しながら、学習に、部活動に、生徒会活動に日々積極的に取り組んでおり、明るい笑顔と真剣な姿勢が同居する活気あふれる学校です。また、本校には校則がなく、生徒自らが決めた「私たちの約束」により自らを律しています。

本校は明治41年、上諏訪町立諏訪高等女学校として高島尋常高等小学校に併設されました。初代 岩垂今朝吉校長は、女子中等教育の確立・発展に力を注ぎ、勤勉を第一に、不撓不屈と質実剛健の精神を尊ぶ校風の確立に努められました。

第二代 三村安治校長も勤勉と質素に裏打ちされた自由と個性尊重を教育理念とし、また、29歳という若さで第三代となったアララギ派の歌人、土屋文明校長も知育を重視し、厳格主義の中にも個性を大切にしました。教師陣におきましても、国語教育に尽力された大村はま先生をはじめ、優れた教師に溢れていました。勉学に対する厳しさは、教えるものも学ぶものもすべてが共有した本校の伝統の一つであり、こうした教育環境の中から日本を代表する優れた人材が数多排出されています。

その後、幾多の変遷を経ながら、長野県の中でも女子教育の中心校として発展を続けてきましたが、昭和62年に男女共学となり、現在に至っています。卒業生は二万数千人を数え、平成29年に創立百十周年を迎えた歴史と伝統を誇る学校です。

今後とも、学習や部活動、生徒会活動を通じて、本校の建学の精神でもある、人としての教養や良識を育む不変の精神と主体的に責任をもって行動できる自主的精神の一層の高揚を図るとともに、生徒、保護者、同窓生、そして地域の皆様の期待に応えるべく、教職員一丸となって魅力ある学校づくりを推進する所存です。様々な活動に多彩に取り組む生徒に対しまして、変わらぬご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

諏訪二葉高等学校長 浅井 秀俊